

千葉経大新聞

第58号行
千葉経済大学
千葉市稲毛区轟町
3-59-5 (〒263-0021)
TEL.043(253)9111(代)
FAX.043(254)6600
http://www.kcu.ac.jp

日野原重明さん 終着駅を 感じさせなかつた105年



学長 佐久間 勝彦

自分のだいたい20歳上と思われ年齢の人を探して、20年後にはそういう人になりたいたい目標を定めましょう。そうすれば、そのようになるためにいま何をすべきか、どのような生活態度で暮らしていなければならないかが見えてくるはずですよ。——

これは105歳の人生を7月18日に閉じた日野原重明さん(聖路加国際病院名誉院長)のメッセージである。まさにそのように人生を歩んできた日野原さんの語る言葉に、私たちは心を動かされる。

つまり、30歳を過ぎて医師の道を歩み始めたとき、図書館で『ウイリアム・オスラー卿の生涯』と出遇った日野原さんは、「医者としてのいちばんだいなことは、いついかなるときでも心を平静に保つことだ」という一文が目が留まった。そして、医の道を進むにあたって目標とする師をオスラー博士に定めた。博士

の著作は全部を読破し、読んだであろうと思われる本もすべて読んで、博士が歩んだ道をたどるように追体験していった。その傾倒ぶりは並外れていて、アメリカに渡って博士の直弟子から聞き取ることでまでしている。

日野原さんは私たち大人に、『生き方上手』などの多くの書物を著した。とともに、子どもたちにも『明日をつくる10歳のきみへ』—103歳のわたしから—といった本を書いた。『未来を託した。』十代のきみたちへ—では、「いのちを成長させるためには、自分をみがいてくれる人とたくさん出会うことが大切」だと述べ、そういう人と数多く出会うことによって、「自分の可能性」を高めていってほしいと思いを届けた。晩年には、

10日に一度は小学校を訪れて「いのちの授業」をすることを楽しむ日野原さんである。100歳を過ぎても意気盛んで、水彩画や書道や俳句を習い始めたし、フェイスブックも立ち上げた。日野原さんは述べる。——同じ場所になくとも、一瞬のうちに人と人がつながって、それはもうまるで同じ空気を吸っているのと一緒じゃないか。

終着駅は、いったいどこにあるのか? 限りなく人生を創める日野原さんにあこがれて、自分もそのように長生きして人生を楽しみたい。心からそう願う人たちが全国にたくさんいる。日野原さんは語る。——自分の命がなくなるということは、自分の命を他の人の命の中に残していくことである。自分に与えられた命を、より大きな命の中に溶け込ませるために生きていくことこそ、私たちが生きる究極の目的であり、永遠の命につながるのだと思う。

多くの人の心に生きつづける日野原重明さんのご冥福を、心からお祈りします。

囲碁の授業を学んで



本年度、本学では「囲碁」の授業を前期に開講しました。昨今、囲碁や将棋を授業として扱う大学が増えてきています。囲碁には思考力、判断力や集中力などが必要とされることに着目し、本学でも「囲碁が培う思考力」をテーマとして前期に授業を開講しました。今回、囲碁の授業を受講した学生の感想を紹介いたしますので、学生の皆さんは今後、授業を選択する際の参考にしてください。

「囲碁の授業を学んで」 (経済学科3年 渡辺 啓祐)

私は囲碁の経験がなく、「何となく楽しそうだ」という軽い気持ちで授業を履修しました。囲碁自体は期待どおり、とても面白いのですが、講義を受け、実践を重ねていくうちに想定していたこととは違ふ楽しさに気づきました。

それは、「相手とのかけひき」や「先を読んで戦うこと」の楽しさです。普通の授業では、学んだことをそのままにすることができません。この授業では、相手と囲

第2回 課外活動団体リーダーズミーティング(夏合宿) サマーキャンプ実施報告

経済学科3年 石井 駿也

この度のサマーキャンプで団長を務めさせていただきました。経済学科3年オープンキャンパス 研究部 副部長の石井です。

平成29年9月12日(火)から13日(水)に課外活動団体の代表2名と部の下級生2名が集まり、千葉県長生郡長柄町にある「リソル生命の森」にて、第2回目となる「課外活動団体リーダーズミーティング(夏合宿)ーサマーキャンプ」

が行われました。大学では毎月1回「課外活動団体リーダーズミーティング」を実施し、課外活動団体の活性化とその組織力強化を目指しています。今回1泊2日の夏合宿で行ったグループワークにより各々が所属している団体の枠を超え、コミュニケーションをとる機会を持つことが出来ました。

両日にわたって私達は、①学年に関係なくグループに分かれ、学生同士による自己紹介やアイスブレイク、②桃崎学生部長、奈良非常勤講師の2名の教員による講義(課外活動の今昔、コミュニケーション講座、マナー講座)③昨年同様グループワークとして、広い敷地内をグループ

新規結成 課外活動団体活動報告

ソフトテニス同好会

経済学科3年 石井 駿也

我々ソフトテニス同好会は、今年発足したばかりの同好会です。現在は大学、短大

でポイントを集めて競い合うフォトオリエンテーリングとKJ法を使った課題整理とプレゼンテーション、④大学をより知るための千葉経済大学検定、⑤校歌練習などの研修に取り組み、能力向上はもちろん、学生同士が学年の幅を超え、輪を広げることができました。

また、研修のほかに夕食のバイキングや懇談会なども行い、プログラムを重ねていく毎にグループメンバー同士のコミュニケーション向上や、競い合うことによる他グループの学生との交流で輪が広がっていくことを感じました。

私は団長として今年の夏合宿では、上下や横の繋がりを大切にしたいと考え、その旨を参加学生の前でお話ししました。両日、参加学生たちの動きを見ていて、学年の幅を超えて繋がっていることを実感しました。

今後行われる大学祭等のイベントでこの繋がりをいかす

機会を設け、お互いに切磋琢磨していただきます。

その他、視野を広げるために、落語など現代にもわたって長く続いている伝統芸能などを鑑賞しに行きます。

今年の夏は、新宿末廣亭に行きました。学内にポスターを出し、部員以外の参加者も募ったため、同好会メンバーだけでなく他の部活の方とも寄席鑑賞することができました。まぐらでは、時事ネタが多用され新聞をもっと読まねばと痛感させられました。

現在、資格検定はもちろんのこと、大学祭にむけてプレゼンテーションの作成をして

ますは気軽に楽しみながらプレーをして少しずつ技術の向上を図っています。

興味のある方やソフトテニスの経験がある方、少し体を動かしたいという方は是非とも月曜日の放課後にテニスコートへ気軽に遊びに来てください。



今年6月に設立した「ビジネス実践研究同好会」

この同好会は、将来を見据えて各々資格・検定の取得をします。同好会メンバーで資格を取得している者は、その資格を目指している人の指導・アドバイスをしています。

また、パワーポイントを使用しプレゼンテーションを行う

今年6月に設立した「ビジネス実践研究同好会」

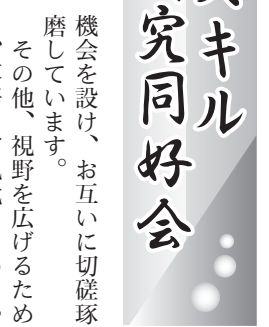
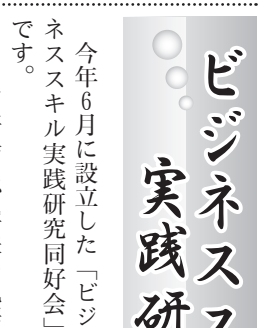
この同好会は、将来を見据えて各々資格・検定の取得をします。同好会メンバーで資格を取得している者は、その資格を目指している人の指導・アドバイスをしています。

また、パワーポイントを使用しプレゼンテーションを行う

今年6月に設立した「ビジネス実践研究同好会」

この同好会は、将来を見据えて各々資格・検定の取得をします。同好会メンバーで資格を取得している者は、その資格を目指している人の指導・アドバイスをしています。

また、パワーポイントを使用しプレゼンテーションを行う



平成29年度 千葉経済大学 リーダーズミーティング in リソル生命の森

9.12~13



写真中央右が渡辺さん

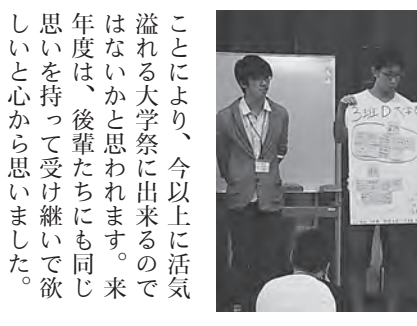
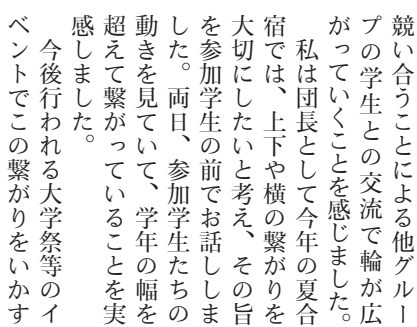
本年度、本学では「囲碁」の授業を前期に開講しました。昨今、囲碁や将棋を授業として扱う大学が増えてきています。囲碁には思考力、判断力や集中力などが必要とされることに着目し、本学でも「囲碁が培う思考力」をテーマとして前期に授業を開講しました。今回、囲碁の授業を受講した学生の感想を紹介いたしますので、学生の皆さんは今後、授業を選択する際の参考にしてください。

この度のサマーキャンプで団長を務めさせていただきました。経済学科3年オープンキャンパス 研究部 副部長の石井です。

平成29年9月12日(火)から13日(水)に課外活動団体の代表2名と部の下級生2名が集まり、千葉県長生郡長柄町にある「リソル生命の森」にて、第2回目となる「課外活動団体リーダーズミーティング(夏合宿)ーサマーキャンプ」

が行われました。大学では毎月1回「課外活動団体リーダーズミーティング」を実施し、課外活動団体の活性化とその組織力強化を目指しています。今回1泊2日の夏合宿で行ったグループワークにより各々が所属している団体の枠を超え、コミュニケーションをとる機会を持つことが出来ました。

両日にわたって私達は、①学年に関係なくグループに分かれ、学生同士による自己紹介やアイスブレイク、②桃崎学生部長、奈良非常勤講師の2名の教員による講義(課外活動の今昔、コミュニケーション講座、マナー講座)③昨年同様グループワークとして、広い敷地内をグループ



父母の会

父母の会会長挨拶 本橋隆司



日頃より父母の会活動にご理解とご協力を賜り、父母の会役員ならびに事務局一同より厚く御礼申し上げます。

この度、5月に父母の会総会にて平成29年度会長に再任する事となりました。本橋でございます。よろしくお願いたします。

本年度も、新しい父母の会を目指して精一杯努めますので、ご協力をお願いいたします。

先ずは、父母の会と大学との共催で大切な事業のひとつに就職の支援活動がありま。9月30日に開催されました。「親子就活スタートアップセミナー」では、森ゼミの創設者である森吉弘氏に就活での心構えなどについて講演を頂きました。また、就活体験談として4年生の学生にも貴重な体験談を話していただきました。その他、5月と10月の年2回、お子様の大学で

の様子や日頃の悩みや疑問を聞いて頂くためのゼミ担当教員と保護者との個別面談会を開催して、毎回多数の方の参加していただいております。

また、本年度も会員相互の親睦を図るために学園祭へ積極的に父母の会として参加し、大学と従来以上に密接な関係を持ちながら活動して行くことと考えております。

「昨日に感謝。今日は反省。明日へ希望。」をスローガンに毎日を繰り返して生活するのではなく、積み重ねて過さず事で父母の会の運営に携わってまいります。不備なところ多々あると思いますが、皆様のご協力とご理解をお願いいたします。私にとって最後の年となります。益々のご協力とご理解をお願いいたします。簡単でございますが、会長就任のご挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願いたします。

千葉経済大学懇談会の開催

教授・父母の会顧問 高屋 和彦



10月5日(木)、毎年恒例となつている父母の会主催の千葉経済大学懇談会が本学で開催されました。

今年、この懇談会により多くのご父母に落ち着いた気持ちで出席していただくために、例年開催している3年次生及びそのご父母の方を中心とした「親子就活スタートアップセミナー」とは目を分けて、懇談会を平日に開催しました。その結果、今まで以上のご参加を得ることができました。

懇談会は、日頃大学に來られないご父母の方々相互の親睦を深めるとともに、学生が通っている大学を知っていた

10月5日(木)、毎年恒例となつている父母の会主催の千葉経済大学懇談会が本学で開催されました。今年、この懇談会により多くのご父母に落ち着いた気持ちで出席していただくために、例年開催している3年次生及びそのご父母の方を中心とした「親子就活スタートアップセミナー」とは目を分けて、懇談会を平日に開催しました。その結果、今まで以上のご参加を得ることができました。



懇談会では、大学の担当教員が面談を行いますので、家庭での親子の会話のきっかけとして、この個別面談を活用していただくことも良いかと思ひます。また、ご父母の皆様から大学へのご要望もこの懇談会の折に寄せられており、ご父母と大学の意思疎通の場としてご利用いただいております。

親子就活スタートアップセミナーについて

平成29年9月30日(土)「親子就活スタートアップセミナー」が開催されました。5ヶ月後に就職活動を控えている3年次生及びその保護者の方を対象に総勢160人が参加されました。ご多忙にもかかわらず、ご参加を賜りました皆様に、心から感謝申し上げます。

当セミナーは、親子で現在の就職活動の実態を知り、これから臨む学生のやる気を引き出し、士気を高めるとともに、保護者の皆様にも就職活動を取り巻く状況について理解を深めていただくことを目的として開催しています。



このたび、元NHKアナウンサーで大学生の就活事情に詳しい森吉弘氏をお招き

インターンシップ報告

千葉市生涯学習センター

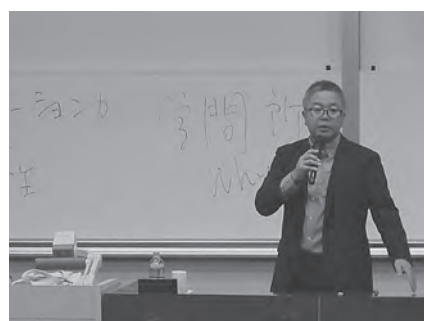
経済学科3年 黒川 優太

私は将来、公共に役立つ仕事に就きたいとインターンシップ先を探していたところ、小学生の頃から度々利用していた馴染みのある千葉市生涯学習センターの様々な情報を地域の方々に提供している事業内容に興味を持ったので応募しました。

他大学の学生2名と一緒に参加しました。初日はセンター主催の夏祭りの運営補助として、タブレットゲームコーナーにて来場した子どもたちにゲームのやり方説明や混雑時の会場整理を担当しました。始めは日ごろ接することのない子どもたちやその親御さんとのようにコミュニケーションをとったら良いか、うまく対応できるか不安でしたが、こちらが笑顔で話しかけると相手も笑顔で応じてくれたので嬉しかったです。



懇談会では、大学の担当教員が面談を行いますので、家庭での親子の会話のきっかけとして、この個別面談を活用していただくことも良いかと思ひます。また、ご父母の皆様から大学へのご要望もこの懇談会の折に寄せられており、ご父母と大学の意思疎通の場としてご利用いただいております。



「内定を取る学生と取れない学生の違い！内定を取る学生の考え方と行動の仕方とは!!」と題して講演いただきました。

学生とコミュニケーションを取りながら進行していただき、身近な例え話を用いることで関心を引きつけ、社会が求める人材や内定を獲得する



残りの4日間は「生涯学習関連図書展示紹介プロジェクト」で「年金」をテーマに地域の方にお勧めの本を選抜し紹介文を考え、ポスターを作成しました。その過程で、推薦図書が決まらなかつたり、紹介文がうまく書けず帰宅後も取り組むなど悪戦苦闘しましたが、実習期間中に無事完成させることができました。

充実した奨学金制度について

(日本学生支援機構)

本学では約40パーセントの学生が日本学生支援機構奨学金の支援を受けており、多くの学生にとって欠くことの出ない支援となっております。

日本学生支援機構では、今年度から低所得世帯の学生を対象とし、奨学生の採用基準が改定されました。

変更内容としては、新入生を対象とした給付型奨学金(返還の必要がない奨学金)の創設、貸与型においても経済的に修学が困難であった世帯の学生が学生生活を諦めることなく続けられる支援が増設されました。

また新入生を含め、全学生における変更点として、内示数の撤廃があります。これまでは、経済状況、学力基準の

ための極意を伝授していただきました。また、就活体験談発表を、充実した就職活動を行った4年生スピーカーの岡田翔さん、香取沙也佳さんから発表してもらいました。就職活動に臨むための心構えや準備事項、保護者の方々に協力いただきたこと等に関して具体的な話がありました。参加者の皆様は、講演を真剣に聞き入れ、熱心にメモを取り、質疑応答では多くの質問が出ました。これを機会に親子で将来について話し合っていただければ幸いです。



一定基準を満たしていたとしても、内示数の関係により、希望する全ての学生を採用することが出来ませんでした。しかし、内示数が撤廃されたことにより、一定基準を満たした学生全てが採用されるようになりました。

これは、内示数が若干名であった第一種奨学金(無利子)においても適用されるため、返還時の負担軽減にも繋がっています。

このように日本学生支援機構の奨学金制度は、これまで以上に多くの学生を経済的困難から救えるよう様々な施策を立てています。現在、第二種奨学金の臨時採用の募集を大学学務課で行っています(平成29年11月末日まで)。希望されている方は期日までに学務課を訪ねるようお願いいたします。

今後もこの奨学金制度を活用し、学生が安心して修学が出来るようサポートし続けて参ります。



同窓会

平成29年度 同窓会定期総会・懇親パーティー報告

恒例となりました同窓会の定期総会・懇親パーティーが、平成29年7月29日(土)に大学学生ホールで開催されました。当日は、事前に役員による理事会が開かれ議案や進行について確認がありました。各議案については、特に問題なく了承されましたが、一点「公式戦等交通費補助金」について検討があり、今まで運動部系のクラブの交通費負担を軽減する目的で設置されたものでしたが、近年文化系団体もイベントや展示を東京等で開催する機会もあり交通費の負担があるということ、公式戦に限らず、大学が認めた大会、イベントについて柔軟に対応していけるようにとの方向性が示されました。

その後、開かれましたメインイベント「定期総会・懇親パーティー」には、総勢60名以上の方が参加してくださいました。総会は鹿島会長のあいさつに続き、議事から始まりまず、**第一号議案** 平成二十八年度決算について **第二号議案** 平成二十九年度予算について **第三号議案** 同窓会各種補助金について **第四号議案** 役員選任について



議事が滞りなく終了した後はお待ちかねの懇親パーティーです。パーティーは同窓生のほか、今年度は、現職の先生方や職員の方々も多く参加して頂き、同窓生との交流を見ることができました。また、同窓会で補助を行ったクラブ所属の現役学生から現状などを報告してもらいました。

今年度は、ここ数年恒例となっていた「マジックショー」「託児スペース」を実施しませんでした。この同窓会・懇親パーティーは同窓生の皆さんと作り上げて行きたいと考えております。今後の総会において「子供が楽しみにしているのて子供向けイベントを復活して欲しい」「小さい子供連れ



年度の総会は盛会のうちに終了しました。来年度はもっとたくさんOB・OGとお会いしたいと思います。同窓会総会は毎年7月の最終週の土曜日をめぐりに開催しております。お食事も人気のホテルケータリングにお願ひして大人から子供まで満足してもらおう料理を取り揃えております(生ビールも飲み放題!)なので、「次回こそは……」と思われている方、卒業生同志声を掛け合いお誘い合わせのうえご参加ください。

卒業生同士で同窓会をやると補助金が出るのを知っていますか？

同窓会では、在学生・クラブ等への援助のほか、同窓生に対する援助も実施しています。この「同窓生親睦会補助金」は、同窓会全員が対象となる画期的な補助金制度です。昨年度もこの制度を利用して「オープンキャンパス研究部OB会」が開催されています。クラブ・ゼミの同窓会で利用できますので、ぜひみなさんご利用ください。

同窓生親睦会補助金 (ゼミOB会、クラブOB会等)

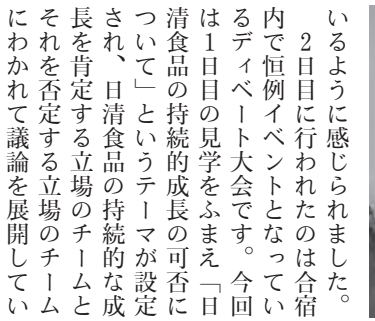
- (目的) 千葉経済大学同窓生という自覚のもと、同窓生間の親睦等の目的で、会合を開催した場合に経費の一部を補助します。
- (支給条件) 各団体、年間1回。4名以上の参加。
- (補助金額) 各団体につき、50,000円以内。
- (申請方法) 開催後、「同窓生親睦会補助金申請書」(HPに掲載)に参加者名簿を添付し、親睦会の写真及び領収書(写)を同窓会事務局に提出してください。
- (支給方法) 補助金の支払は、同窓会総会において行い、同時に活動状況等の報告をしております。

経費の総額が100,000円以上の場合	→ 50,000円支給
50,000円以上100,000円未満の場合	→ 30,000円支給
20,000円以上 50,000円未満の場合	→ 20,000円支給
20,000円未満の場合	→ 支給なし

ゼミ合宿(仁平ゼミ) 同窓会クラブ・ゼミ合宿補助金を活用して

仁平ゼミ(経営戦略演習)では2年次夏休みに行われるゼミ合宿が恒例行事となっています。現場に実際に出向き、そこで行われている様々な物事に大学のゼミ室で学んだ経営戦略の考え方をあてはめ、試行錯誤することによって、実践的な思考力を身につけることが合宿の狙いです。

今年のゼミ合宿は2017年9月14日(木)・15日(金)にかけて横浜を舞台に開催されました。1日目は横浜中華街を散策後、みなとみらいにある「カップヌードルミュージアム横浜」を見学し、日本有数のクラシックホテルである「ホテルニューグランド」に宿泊しました。



中華街の街中で行われている接客(お客様への声掛け)とホテルで行われている接客とでは、ある意味180度違うもののように思われますが、その場の雰囲気合った接客として街を歩く人々もホテルの宿泊客もそれを楽しんでいるように感じられました。



2日目に開催されたのは合宿内で恒例イベントとなっていた「デイビート大会」です。今回は1日目の見学をふまえて「日清食品の持続的成長の可否について」というテーマが設定され、日清食品の持続的な成長を肯定する立場のチームとそれを否定する立場のチームとにわかれて議論を展開してい

きます。「健康志向の高まりからインスタント麺の需要はこれから減るのでは?」「海外マーケットにはまだ開拓の余地がある!」など様々な観点から活発な討議が行われました。デイビートでは自分達とは異なる立場にある人たちの観点をふまえて討議の作戦を練ったり、デイビートの聴衆の観点を大切にしながら、わかりやすい主張を練り上げていく必要がありそうです。その意味で、多様な観点から物事を考えていく力を身につけることにもつながります。

こうした活動を一つ一つ積み重ねながらゼミ生の成長につながるべきだと考えています。なお、本活動は同窓会のゼミ合宿補助金を活用させて頂くような形で展開されており、この場を借りて同窓会の皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。



私にとってのかけがえのない財産 同窓会親睦会補助金を有効に活用しています 平成21年度卒業生 永井 宏直

この度は、同窓生親睦会補助金制度を利用させていただき、ありがとうございます。この制度は、千葉経済大学同窓生間の親睦等の目的で、会合を開催した場合に費用の一部を負担していただくもので、昨年の10月に同制度を活用し、オープンキャンパス研究部同窓生による懇親会を開催させていただきました。

私には深く感謝しております。最後に、人間関係の希薄化が懸念されている近年において、これまで築いてきた信頼関係は些細なことでもリセットされてしまいます。しかし、お互いが一歩引き、相手を尊重することで絆の糸は二重にも三重にも強くなるものです。だからこそ、その糸一本一本の重みをしっかり受け止め、人に誠実でありたい。そう考えさせてくれるきっかけくれた恩師・学友をはじめとする全ての人に心から感謝いたします。この度は、本当にありがとうございました。



2017年度「オープンアカデミー」

毎年ご好評をいただいております本学主催の公開講座「オープンアカデミー」を本年度も開催することとなりました。

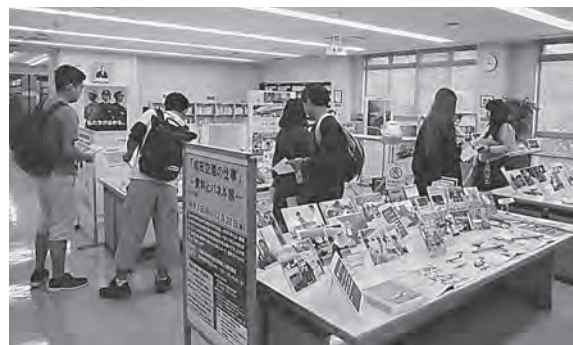
「政経塾」共通テーマ：国際経済と開発経済	
第1回	2017年11月11日(土)、10時30分～12時 染矢将和 (千葉経済大学 准教授) 「イラク経済の現状と課題」
第2回	2017年11月12日(日)、10時30分～12時 三浦洋子 (千葉経済大学 教授) 「米朝緊迫下の平壤、白頭山を訪問して」
第3回	2017年11月18日(土)、10時～11時30分 福本真弓 (千葉経済大学 准教授) 「トランプ政権のゆくえー保護主義と日本経済ー」
第4回	2017年11月25日(土)、10時30分～12時 大賀圭治 (東京大学 名誉教授) 「自由貿易の潮流変化ー英国のEU離脱と米国の保護貿易主義の意義ー」
第5回	2017年12月9日(土)、10時30分～12時 岡室美恵子 (千葉経済大学 非常勤講師) 「ヨルダン経済入門ー非産油国の自立と課題ー」
第6回	2017年12月16日(土)、10時30分～12時 村田 旭 (千葉経済大学 専任講師) 「移民と海外送金」

「落語」・「演習」・「特別講演会」	
第7回	2018年1月27日(土)、13時～14時30分 柳亭左龍 (落語協会所属、東京女子大学 非常勤講師) 落語と講演「落語家の前座修業と寄席の役割」
第8回	2018年2月10日(土)、13時～14時30分 仁平晶文 (千葉経済大学 准教授) 演習「経営学から考える落語界の師弟制度・組織関係」
第9回	2018年2月17日(土)、10時30分～12時 小澤慶和 (千葉経済大学短期大学部 教授、元千葉県商工労働部長) 特別講演会「千葉県産業の変遷」

今年度のプログラムは、前半(年内)と後半(年明け)の2部構成といたしました。前半は「国際経済と開発経済」を共通テーマとした政経塾を、後半は落語家と本学教員がコラボして落語界を経営学から考える講演と演習、そして千葉県産業発展史を現場目線で考える特別講演会など、多彩なプログラムを組みました。興味のある方は下記連絡先までお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ

千葉経済大学地域総合研究所
〒263-0021 千葉市稲毛区轟町3-59-5
TEL:043-253-9115 FAX:043-253-9901
E-mail: gakumu-15@cku.ac.jp



開催のお知らせ

第30回 大学祭

平成29年 11月11日・12日

大学祭実行委員会 委員長
経済学科3年 柏熊 綾音



今年も11月11日(土)、12日(日)に千葉経済大学祭の開催が決定しました。

今年の大学祭のテーマは、「Sky is the limit」です。これは「可能性は無限だ」という意味であり、昨年の大学祭を超えるという想いと、その大学祭を作り上げる学生一人ひとりの可能性は無限であるという想いの二つを踏まえ、このテーマに決定しました。



準備が進む中、悩んでしまったこともありましたが、多くの教職員をはじめ、先輩方や参加団体の方々、実行委員会のメンバーはもちろん、短期大学部の実行委員会、地域の方々のご指導・ご協力をいただき、無事に今年も開催までたどりつくことができました。手を差し伸べてくださった皆様には言い表せないほど感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りまして御

準備が進む中、悩んでしまったこともありましたが、多くの教職員をはじめ、先輩方や参加団体の方々、実行委員会のメンバーはもちろん、短期大学部の実行委員会、地域の方々のご指導・ご協力をいただき、無事に今年も開催までたどりつくことができました。手を差し伸べてくださった皆様には言い表せないほど感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りまして御

準備が進む中、悩んでしまったこともありましたが、多くの教職員をはじめ、先輩方や参加団体の方々、実行委員会のメンバーはもちろん、短期大学部の実行委員会、地域の方々のご指導・ご協力をいただき、無事に今年も開催までたどりつくことができました。手を差し伸べてくださった皆様には言い表せないほど感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りまして御

ひとりこの可能性は無限であるという想いの二つを踏まえ、このテーマに決定しました。昨年は短期大学部の初の同一キャンパス内での開催ということも、実行委員一同戸惑いもあり、至らない点多かったと思っております。今年も二年目ということですが、昨年よりさらにパワーアップした大学祭を皆様にお届けするために実行委員一同、力を合わせて準備しております。さらに、今年からはゼミナールの発



図書館からのお知らせ

「成田空港の仕事 資料とパネル展」を開催中です

千葉経済大学総合図書館では、2017年度の後期企画展として「成田空港の仕事 資料とパネル展」を10月2日(月)から開催しています。日本を代表する空の玄関口「成田空港」は、来年5月に開港40周年を迎えます。成田空港の利用者は、一日10万人を越えますが、この膨大な利用者を支える仕事は様々です。今回は、成田空港と関連する様々な仕事について、資料やパネルを展示して紹介しています。

開催期間 2017年10月2日(月)～12月22日(金)

開催場所 千葉経済大学総合図書館2階閲覧室

開館日 図書館開館カレンダー <http://lib.cku.ac.jp/>

入場 無料(一般の方も自由にご覧いただけます)

協力 全日本空輸株式会社
ANA成田エアポートサービス株式会社
株式会社ANA Cargo
株式会社ANAケータリングサービス
東京税関

問い合わせ先 千葉経済大学総合図書館
TEL 043-253-9941

人事異動

【教員】
昇任・昇格(平成29年10月1日付)
・藤波 美帆 大学准教授

【職員】
退職(平成29年3月31日付)
・石塚 豊実
大学・短期大学部事務局入試広報センター参与(嘱託)

(平成29年5月15日付)
・高橋 里子
大学・短期大学部事務局キャリアセンター

(平成29年8月10日付)
・大内 優
大学・短期大学部事務局入試広報センター

(平成29年9月30日付)
・陶山 具史
学園理事、大学特任教授、法人事務局長、
大学・短期大学部事務局、情報企画戦略室室長

採用(平成29年4月1日付)
・梅沢ルミ子
大学・短期大学部事務局大学学務課看護師

・大内 優
大学・短期大学部事務局入試広報センター

・齊藤佳世子
大学・短期大学部事務局キャリアセンター(嘱託)

・松丸 桃子
総合図書館図書課(嘱託)

(平成29年10月1日付)
・岡野 輝
大学・短期大学部事務局入試広報センター

昇任・昇格(平成29年10月1日付)
・山口 博
法人事務局長、大学・短期大学部事務局、
情報企画戦略室室長

・小倉 光治 大学・短期大学部事務局短大学務課長
・奥 三恵 総合図書館図書課係長

配置換(平成29年5月1日付)
・渡邊 直子
大学・短期大学部事務局キャリアセンター
(配置換前 法人事務局 総務課)

(平成29年10月1日付)
・荻野 正昭
大学・短期大学部事務局庶務課長、
情報企画戦略室参事、総合図書館図書課課長
(配置換前 大学総合図書館図書課課長)

・石川 博文 総合図書館図書課係長
(配置換前 法人事務局 会計課係長)

兼務発令解除(平成29年3月31日付)
・平林 隆
大学・短期大学部事務局キャリアセンター室長補佐

※入試広報センター室長補佐兼務を解く